

(様式1)

平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	751-0091
平成18年度部名	生涯学習部	課名	青少年課(青少年学習センター)	課長名	田所 哲男
平成19年度部名	こども育成部	課名	青少年課(青少年学習センター)	課長名	浅見 行彦
事務事業名	青少年学習センター活動費				
予算上の事務事業名	鼓笛バンド育成費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				
施策名	第1施策 青少年活動の促進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	相模原市次世代育成支援行動計画			概要 青少年活動の充実 青少年関係団体の育成・支援	
計画年次	17	年度～	21	年度	
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼			5 事業開始年度	昭和63年以前 ▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
相模原市少年鼓笛バンド連盟(通称:相鼓連)及び相鼓連加盟の各地区の鼓笛隊の活動を支援し、(1)集団活動による生活指導 (2)豊かな情操感情を培う (3)体力の増進の3点を指導目標とし、音楽教育による集団活動を通じ、青少年健全育成に寄与する。				相鼓連及び隊員・育成	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
(1) 相鼓連の活動支援・・・活動の助言・指導・調整、実務上の支援 会議等出席、隊員募集支援、練習会場等確保					
(2) 市教育委員会委託事業の依頼・・・実務上の支援、調整 ジュニア・リーダー養成講習会(4～3月 全14回)6年生隊員63名 ドリル大会(11月 ドリル、パレード演奏等の発表 市総合体育館大体育室 入場者1000人) 鼓笛まつり(3月 鼓笛演奏の発表 市民会館ホール 入場者1000人)					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	1,123	1,120	1,217	1,336	1,336
一般財源	1,123	1,120	1,217	1,336	1,336
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	381	378	378	378	378
事業コスト合計	1,504	1,498	1,595	1,714	1,714
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	ジュニア・リーダー養成講習会			対象名称 と単位	参加者 人
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	273	273	273	273	273
対 象 数	675	876	876	845	845
単位あたり経費(円)	404	312	312	323	323
前 年 度 比		0.77	1.00	1.04	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者増減率（％）	指標式と指標の説明 (各回講習会の参加者『実績』)÷参加者数『理想』×100			
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	675	876	876		
目標	689	884	882	845	845
目標達成度（％）	98.0	99.1	99.3		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者増減率（％）	指標式と指標の説明 (各回講習会の参加者『実績』)÷参加者数『理想』×100			
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	675	876	876		
目標	689	884	882	845	845
目標達成度（％）	98.0	99.1	99.3		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		相鼓連は青少年の健やかな成長を願い、昭和41年6月に発足し、以来、鼓笛活動を通じて青少年健全育成に重要な貢献を果たしている。今後の活動に対してさらなる支援が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策 活動の活性化のため市としての支援のほか、団体としての自主性も進めていく必要がある。			15 課題として認識されたこと 公共施設等の有料化や減免の見直しで、使用料が高額になり負担が大きくなった。ジュニア・リーダー養成講習会では、会場として小学校の体育館等を使用させてもらっているが、騒音の関係もありより一層気を使うようになった。 各地区の鼓笛隊では子どもの数が減少していることもあ		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、効果的な事業の実施を検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			